

筆匠 井原思斉と  
 文人墨客展

期間 5月18日(日)まで  
 製筆業者仿古堂の長男として熊野町に生まれた井原思斉(1910-1976)は、自ら筆を持って書き、その世界を探索した筆匠です。文人たちとの交流を通じて独自の境地を築いた井原思斉の書作品、及び書を題材にデザインされた暖簾や小物、文人たちとの交流の手紙など約70点を紹介します。



〈特別イベント〉  
 と き 5月3日(祝)  
 午後1時半〜

- ①基調講演「井原思斉の書」  
 貝原司研氏(書家)
- ②基調講演  
 「思斉さんの染物の書」  
 春名好重氏(美術評論家)

③シンポジウム  
 「井原思斉と熊野筆を語る」  
 (パネラー)

神沢 知丘氏(書家)  
 城本 正昭氏

(熊野町商工会会長)  
 高本 琢史氏

(熊野筆事業協同組合理事長)  
 実森 得全氏

丹羽美乃里氏  
 (井原思斉次女)

後援 熊野町・熊野町教育  
 委員会・熊野町商工会・熊野  
 筆事業協同組合

協力 熊野町郷土史研究会  
 〈学芸員によるギャラリー解説〉

と き 5月9日(金)・11日(日)  
 16日(金)  
 午後2時〜(15分)

合同日本画小品展

と き 5月7日(水)〜  
 11日(日)

町民会館で開催している日  
 本画教室(講師。挽田謹子)  
 受講生51名による作品展

「軌保博光」改め  
 てんつくマン展

期間 5月20日(火)〜  
 7月6日(日)

「あなたの目を見てインスピ  
 レーションで言葉書きます」  
 という筆文字パフォーマンス  
 で話題を集めた、てんつくマ  
 ン(元・軌保博光)の作品展。

現在までに、6万人以上1人  
 ひとりにオリジナルのメッセー  
 ジを書き綴り、今を生きる「  
 筆文字作家として活躍する、  
 てんつくマンの筆による作品  
 の展示。(販売有)

作家本人来場のオリジナル  
 書き下ろしパフォーマンスも  
 実施。

〈特別イベント〉  
 「てんつくマン書き下ろし  
 パフォーマンス」

と き 6月7日(土)  
 8日(日)

第1部 午前11時〜  
 午後1時

第2部 午後2時30分〜  
 午後4時30分

定員 各回50名/1日  
 参加料金 色紙2,500円

主催 財団法人筆の里振興  
 事業団・中国新聞社・ひろし  
 まPステーション  
 入館料 大人 500円  
 小中高生 250円

(※20名以上の団体は2割引)

筆の里工房  
 レストランオープン  
 「旬彩工房、菜一輪」

4月29日(火)筆の里工房に  
 「旬彩工房・菜一輪」がオー  
 プンしました。  
 ノスタルジーと身体にやさ  
 しくをモットーに、和食中心  
 のメニューを取り揃えていま  
 す。  
 どうぞお気軽にお立ち寄り  
 ください。

氷川きよしの  
 歌「こころ」書道展募集要項

対象 子供から大人まで誰  
 でも参加できます。

課題 氷川きよしの新曲  
 「白雲の城」の題名、又は歌  
 詞の一部を含んだ漢詩や和歌、  
 俳句、詩であれば結構です。

用紙 半紙(縦33.5cm 横24cm)  
 画仙紙(小画仙紙(縦135cm  
 横35cm)または半切(縦70cm  
 横35cm))

※軸装をするので、いずれも  
 縦長作品に限ります。

出品料  
 Aコース(作品返却なし)  
 半紙1千円 条幅1千500円  
 Bコース  
 (紙) 表装して返却)  
 半紙2千500円 条幅3千500円  
 Cコース  
 (布) 表装して返却)  
 半紙6千円 条幅1万円

応募期間 5月1日(木)〜  
 20日(火)

※その他詳しいことを知りた  
 い方は、筆の里工房までご  
 連絡ください。

と き 6月7日(土)  
 8日(日)

第1部 午前11時〜  
 午後1時

第2部 午後2時30分〜  
 午後4時30分

定員 各回50名/1日  
 参加料金 色紙2,500円

主催 財団法人筆の里振興  
 事業団・中国新聞社・ひろし  
 まPステーション  
 入館料 大人 500円  
 小中高生 250円

(※20名以上の団体は2割引)

筆の里工房  
 レストランオープン  
 「旬彩工房、菜一輪」

4月29日(火)筆の里工房に  
 「旬彩工房・菜一輪」がオー  
 プンしました。  
 ノスタルジーと身体にやさ  
 しくをモットーに、和食中心  
 のメニューを取り揃えていま  
 す。  
 どうぞお気軽にお立ち寄り  
 ください。